

令和6年度 道徳教育 全体計画

学校番号	17	長野東	高等学校	全	課程	普通	科
------	----	-----	------	---	----	----	---

学校教育目標	
将来、国際的視野に立って社会の進展に貢献できる人材の育成に努める。 このために明朗で秩序ある学校生活をとおして教養を高め、心身を鍛え、自主的で創造性豊かな人間形成を期す。	
重点目標	
確かな学力の保障と自立した個の育成を目指す。	

道徳教育の重点目標	
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図り、ルール・マナーを尊重する態度を育てる。 日常の学習活動や生徒会・部活動を通して、自他の生命や人権を尊重する思いやりのある心を育て、よりよい人間関係を築かせる。 	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年	基本的生活習慣の確立を図るとともに、部活動や学校行事・生徒会活動に積極的に参加するよう働きかける。	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用しながら客観的な自己理解を深める。 夏の職業研究・仕事調べ、秋の企業・大学見学、探究的な学習を通して、さまざまな職業を知る中で自己の適性を探る。 職業に貴賤がないことを理解する。 	学校行事や日頃の清掃活動等を通して、望ましい人間関係を確立し、集団の一員として責任ある行動を取ろうとする態度を育成する。	部活動加入や生徒会委員会に積極的に所属するよう促し、集団の一員としての学校生活の確立を図る。	国語	さまざまな文章を読むことで、ものの考え方を深めるとともに、語彙力をつけさせる。
					地理歴史	日本及び世界の歴史の形成過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展を考える資質を養う。
					公民	現代社会の諸課題への知識や理解を深め考えさせ、主体的に生きる民主的平和的な国家、社会の一員として必要な自覚と資質を養う。
2年	基本的生活習慣を継続し、中堅学年として、自律した集団作りに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 傾聴力を高め、適切な他者理解を深める。 就業体験などを通して、職業観を養う。 学問研究を深め、自分の力が社会のどの分野で貢献できるかを考えさせる。 	望ましい人間関係の確立に引き続き努め、修学旅行などの宿泊行事を通じてより良好な集団作りを努める。	年度途中から生徒会・部活動等でリーダーになることに備えて、より積極的に参加する態度と、各場面におけるリーダーシップの育成を図る。	数学	日常生活や社会現象、自然現象などの問題を数学的に表現し、処理する経験を通じ、論理的な思考力や公平・公正な判断力を養う。
					理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、地球の環境や生態系のバランスなどについて考えさせ、自然と人間との関わりについて認識させることにより、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。
					保健体育	体育…互いの体力・技術・価値観の違いを認め合い、定められたルールの中で最大限に仲間を尊重し、生かしながら、向上していく能力を育てる。 保健…心と体の健康を扱う中で、年齢・性別・障がいの有無・環境の差を含め、ダイバーシティな社会を構築できる人材を育てる。
3年	自らの進路希望を叶えるための努力を通して、社会における常識や判断力を身につけ、意欲的に行動できる社会人の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 自ら設定した目標に向けて、自らの力で進路を切り開く力を養う。 自己目標の社会の中での位置づけを理解し、実現のために努力し続ける力を育てる。 人権教育を通して、社会的矛盾に気づき、解決策を模索する力を養う。 	進路希望実現に向けて、仲間の頑張りを支援できる集団作りを目指す。また、最終学年として、文化祭やクラスマッチ行事に自主的に取り組む態度を育成する。	生徒会・部活動等において、自らの目標を達成する努力を継続的に行う態度を育成する。また、集団のリーダーとして役割を果たすことを促す。	芸術	芸術教科では実生活に則した知識や技能を習得し、思考力・判断力や表現力を養う。その成果として人間性の涵養や豊かな心情・健やかな体の育成を目指す。
					外国語	ペア・グループワークなどの学び合いを通して、コミュニケーション能力を育成するとともに、教科書の内容を通じ、世の中の諸問題を身近に感じ、異文化理解を深める。
					家庭	生活全般をとおして、家庭や地域社会の一員としての自覚をもち、生涯を見据えた自分の生き方を考え行動できる力を育てる。
					情報	情報モラルは「社会と情報」の重要なテーマであり、ネット上のいじめ問題をはじめ、科学的理解を共に深める。
					総合的な探究の時間	現代の社会に内在する問題に目を向け、自分自身が選んだ社会問題を調査・研究し、更に地域社会と連携しながら社会問題の解決方法を考えることにより、社会に貢献する意識を醸成する。

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> きずなネット学校連絡網を用いて、学校の様子を家庭に提供するとともに、登下校時の交通安全・マナー遵守を呼びかけ、協力を仰ぐ。また、年2回の保護者アンケートを通じて、家庭の要望の把握に努める。 近隣の保育園との交流、地域の祭り・運動会の手伝いなど地域コミュニティと積極的に関わる。
-----------	---